



水沢のお茶（伊勢茶）は静岡、鹿児島に次いで多く生産されています。

親子茶摘み体験も大変好評で毎年行われています。（手揉み茶体験、お茶を利用した料理やお菓子の試食もしました。）



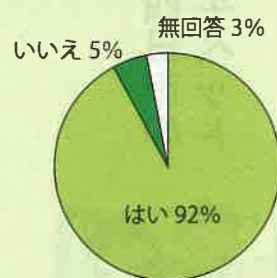
〈炉開きの花〉

水沢の人 92 人に聞きました!

お茶の産地である水沢の方が、お茶に対してどのような意識をもっているのかをアンケート調査をしました。(有効回答数(男性 29 女性 63))

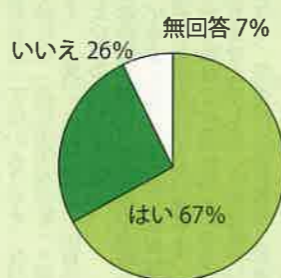


食事の際お茶を飲みますか?



全体では9割の人が「飲む」という回答だったが、50才以上はほぼ100%の方が「飲む」のに対し、49才以下では11%もの方が「飲まない」。若い人の多様化が見られる。

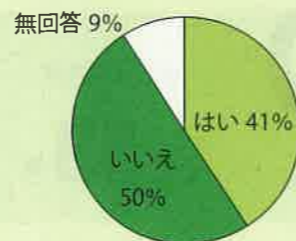
お中元やお歳暮などのご進物にお茶を使いますか?



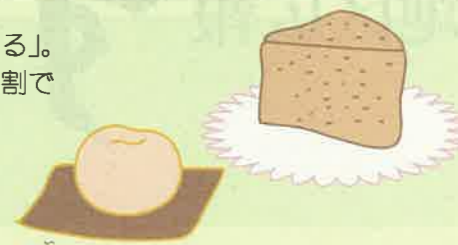
50才以上の方は8割以上の方が贈り物として利用している。49才以下の方は6割弱。若い人ももっと積極的に利用してもいいのでは。街の人に水沢のお茶は喜ばれる。



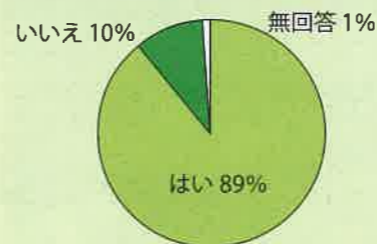
文化祭などでお茶の美味しいいれ方教室が開催されたら参加しますか?



50才以上の方は6割が「参加する」。49才以下の方は「参加しない」が7割で逆転現象が起きていた。



急須でお茶をいれますか?



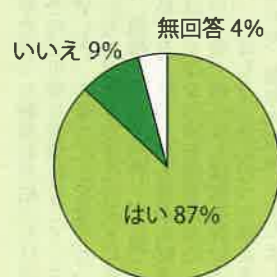
49才以下の若い人では急須でいれない人が2割もいた。忙しいのでしょうか?急須で一服しませんか。



飲む以外のお茶の使い方を教えてください。

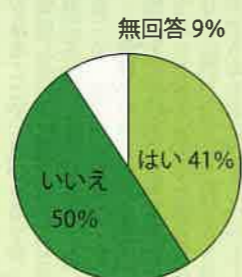
回答者の7割の人が女性なので料理に使うという回答が多かった。若い人はクッキー、ケーキ等のお菓子作り。年配の方は佃煮、天ぷら、茶飯、麺や餅に使っている。お茶にはカテキンの抗菌作用があるため、お茶を風呂に入れてアセモや水虫の予防に使う他、茶殻を脱臭や掃除に使う人もいた。

来客にお茶をいれますか?



9割の人がお茶を出している。50才以上では98%がお茶を出しているが、若い人では80%にまで減っている。

ペットボトルのお茶を買って飲むことがありますか?



年代にかかわらず、便利なのでペットボトルのお茶は利用されている。美味しいという理由で利用している人もいた。水沢の人でも認める味。



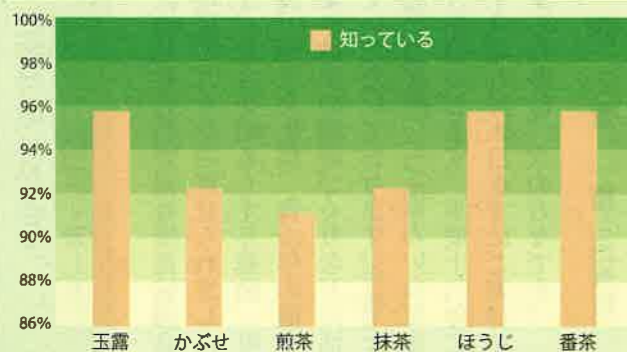
お茶の友は何ですか?

定番の和菓子のほか、洋菓子やスナック菓子という回答があった。年配の人では漬物と回答する人が多かった。それ以外でも様々な回答があり、それぞれに皆さんが楽しんでいるのが分かった。

あなたが友人・知人にお茶を勧める良いPR方法がありますか?

健康やダイエットに良いなど、お茶の健康面に対する効果を挙げてPRしたらどうかという意見が多かった。

お茶に関するこの言葉を知っていますか?



9割以上の方がお茶に関する言葉を知っており、お茶に対する関心の高さが分かった。他に「紅茶」や「ウーロン茶」などの日本の茶でない回答も見られ、生活に色々な茶が取り入れられている事が分かった。



茶葉とちりめんじゃこの当座煮

材料
茶の出し殻、ちりめんじゃこ、白ごま、しょうゆ、酒、みりん、砂糖、油

作り方
①茶殻の水分を切って冷蔵庫に保存しておいたものを油で炒める。
②ちりめんじゃこを入れて、酒、砂糖、しょうゆの順に味つけし、水分がなくなったら、みりんを入れ、仕上げに白ごまをふりかける。

まとめ アンケートよりお茶が年代にかかわらず水沢の人々の生活に密着していることが分かった。しかしお茶との接し方が昔とは変わってきているようだ。

ペットボトルのお茶の利用率が年代に問わず高く、それはペットボトルのお茶の利便性と品質の向上が原因だろうと思われる。「食事の際お茶を飲むか」「お進物に利用するか」という問いの回答では、若い人の「ハイ」の割合が、年配の人と比べかなり少ない。「お茶のいれかた教室があったら参加するか?」という問いには、若い人の7割が参加しないと答えている。以上から若い人たちのお茶離れの傾向が見える。

若い人たちにお茶に関心を持ってもらうため、お茶の美味しさ、良さを若い世代に受け継いでいく方法を考える時かもしれない。

水沢ミニ情報

清水 敬次さん (二本松町)
農林水産大臣賞を受賞

静岡で茶品評会

第六十回全国茶品評会が静岡市で開かれ、かぶせ茶の部で清水敬次さん(二本松町)が最優秀の農林大臣賞に輝きました。

三位の日本茶業中央会長賞に鎌田俊治さん(宮妻町)、四位の全国茶商工業協同組合連合会長賞に清水正美さん(二本松町)が選ばれました。



清水 敬次さん



鎌田 俊治さん



清水 正美さん

四日市のチベット



「水沢って四日市だけ、四日市って」と違和感を感じるよね。」

どうも水沢町民以外の四日市市民は、水沢を四日市だと思っていないようです。我が家にハガキを出す時には「四日市市水沢町」と書いてくるくせにです。「都会」の四日市に「田舎」の水沢は要らないというのでしょうか。

私は結婚を機に、名古屋の実家からこの水沢にやってきました。名古屋と水沢は意外に近く、高速道路を使えば四十五分程です。

しかし私はこんなに近くにある水沢について全く知りませんでした。これは私だけに限ったことではなく、名古屋に住む友人、親戚も同じでした。その中で一人、叔父だけが水沢に来たことがありますが、その叔父の認識は「ゴルフ場がいっぱいあるところ」というものでした。おそらく三重県にお茶の産地がある、ということすら知らないのではないのでしょうか。

話は変わりますが、私が結婚して水沢に来たのは新茶の時期でした。その時のことを良く覚えています。ゴリラ山の濃い緑をバックに茶の新芽が鮮やかに輝き、グリーンの絨毯が一面に広がって、見事なコントラストを描いていました。お茶畑があまりに綺麗で見とれてしまいました。その綺麗

な茶の新芽で作った新茶をお姑さんは淹れてくれました。それは可憐な黄緑色をしていて、甘く清しい味でした。お茶ってこんな味だったの？というくらい今まで飲んできたお茶とは味が違っていました。初めてお茶を美味しいと思ったのです。それから私は茶の新芽が出る春が大好きになりました。夏はヒグラシの声を聞きながら、ゴリラ山に沈む夕日を見、夜になれば蛍を見に近くの川に行きます。秋はもみじ谷に行つて燃えるような紅葉を見るのが、毎年の恒例になりました。冬はちよつと車を走らせて湯ノ山に行き、温泉にゆつたりと浸かります。

最初の不安な気持ちはいつの間になくなくなりました。水沢で自然の中で過ごす生活が好きになりました。水沢のお茶も大好きになりました。今では友人知人に水沢のお茶のよさを説いて回る宣伝マンです。

水沢に住んでしばらく経つてから、私は水沢以外の四日市市民の人たちが水沢のことをあまり知らないの気づきました。水沢が自然豊かで美しい場所であることや、水沢のお茶がとても美味しいことが知られていないのです。静岡がお茶の産地だということを知っていても、同じ市の中でお茶を作っているということを知らない人がいるのです。

何故知らないのかと考えたときに、水沢の情報が世に出していないということに気づきました。美しい自然があることや、良いお茶を作っていることを外に発信しないのは勿体無いことだと思えます。(三重県のお茶の生産は国内第三位、かぶせ茶の生産は第二位、加工用原料茶は一位です。三重県のお茶は伊勢茶の中でも大きな生産地である水沢の知名度が低いのは本当に驚きました。)

私は生まれも育ちも水沢ではありませんし、お茶関係の仕事に携わっているわけでもありません。そんな私が言うのもおこがましいかもしれませんが、四日市にとどまらず、名古屋や、それ以外の地域の人にも水沢を訪れて貰い、お茶を飲んで貰いたいと思います。そして水沢の良さとお茶の美味しさを世に広めて貰いたいのです。

知つて貰えれば、きっと水沢は「四日市のチベット」などと言われず、「有名なお茶の産地水沢は四日市にある」と胸を張っていつてもらえるはずですよ。これを読んでくださっている皆さんも、是非色々な人に水沢の良さと、お茶の美味しさを広めてください。有名なお茶の産地「水沢」を日本中に広めましょう。

(千)

ご寄付ありがとうございました

ございました

水沢地区社会教育福祉推進協議会では、地区の方々から寄せられました寄付金を、社会を明るくする運動、町民運動会、地区文化祭、青少年の健全育成事業や地区の環境づくりなどに活用させていただいております。今後とも、「生活改善運動」にご協力いただきまますようお願いいたします。平成十八年二月以降十八年九月末日までにご寄付いただきましたのは、次の方々です。

- 森 豊 様(西條町)
- 中川 邦夫 様(水沢東町)
- 田川 正 様(水沢野田町)
- 鎌田 長寿 様(宮妻町)
- 小粥 吉美 様(水沢野田町)
- 山崎 順子 様(北谷町)
- 辻 正道 様(水沢中谷町)
- 辻 彰史 様(北谷町)
- 清水 恒男 様(西條町)
- 萩村 重美 様(水沢東町)
- 水谷 美知代様(四ツ谷町)
- 田中 正臣 様(水沢茶屋町)

